

令和4年度 第2回 日進市環境まちづくり評価委員会 議事録

- 日 時 令和4年10月11日(火)
午前9時30分から午前10時15分まで
- 会 場 市役所本庁舎4階 第1会議室
- 出席委員 小林敬幸(会長)、増田理子(副会長)、石橋健一(委員)、石原貴代(委員)、
鈴木秀和(委員)、高野雅夫(委員)、寺田裕美(委員)
- 事務局 近藤伸治(環境課長)、河村秀根(環境課課長補佐)
祖父江篤人(環境課ESD推進係長)、宮田大(環境課ESD推進係主任)
- 傍聴者 なし
- 内容

□出席委員の確認 7名中7名の出席。日進市環境まちづくり評価委員会規則第3条第2項の成立要件を満たしていることを確認。

議題(1) 日進市環境基本計画年次報告書(案)について

会 長：それでは、議題1「日進市環境基本計画年次報告書(案)について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

委 員：P24のE1の数値のうちH30～R2は、緑地率の数値で、R3は緑被率の数値を表しているということでしょうか。H30～R2までは緑被率の数値は、記載していないということでしょうか。

事務局：そのとおりです。R3の括弧内の数値が緑被率の数値となります。R2までの過去のものに係る緑被率の数値は算出していません。

委 員：表の中の表記がわかりづらいと思いましたので、2段書になっていれば良いと思います。

事務局：他の指標でも途中で指標が変更しているものがあり、それらの表記の仕方になって記載しています。

委 員：P24の※1の箇所は、R3から変更されたことが分かるように修正されてはどうか。

事務局：指標が途中で変更されている他の箇所と整合を図りながら、全体的に調整し、修正いたします。

委 員：緑地率について目標未達成ですが、どのように緑地を増やしていくのでしょうか。

事務局：区画整理事業に伴って、市街化区域において緑地が減ってしまうのは避けられないものですが、減少幅を下げるかなるべく維持していくよう努めることとなります。

委 員：目標未達成であるのは、目標の設定値が間違っていたという理解ですか。

事務局：目標設定時から、見込み違いが生じたということです。

委 員：次期計画では、開発の目標とこの数値が整合していくことが必要ということですね。

委 員：今でも区画整理に伴って里山が減っていますが、東部丘陵地においては森林が切り倒

されてしまうようなことが起こらないよう、なんとかして守っていただきたいと思います。

事務局：総合計画の中で、土地利用のゾーニングがされており、東部丘陵地については、森林保全ゾーンとされていることから、市としても積極的に維持・保存していくエリアとなっており、そのようなことは起こらないと考えています。

委員：緑のネットワークを繋げると緑地として効果が大きくなります。川とか街路樹でネットワークは繋げるのですが、市内は道が狭いので街路樹は難しいと思いますが、ネットワーク形成も考えていければ良いと思います。

委員：緑を大切に作る人づくりが大切であると感じました。次の計画の中では人の育成についても入れていただきたいと思います。

事務局：ESD講座として、市民団体の皆様と環境教育に取り組んでいます。これについては、今後も継続的に実施して参ります。

会長：それでは、資料1の修正については、事務局に所要の修正をしていただき承認といたします。

議題（2）答申（案）について

会長：それでは、議題2「答申（案）について」、前回の皆様の意見を踏まえ、資料のとおり答申（案）を作成しております。ご意見・ご質問はございますか。

（意見・質問なし）

会長：それでは意見等ございませんので、答申（案）を成案といたします。これにて議題を全て終了いたします。続いて答申を行います。

（答申）

会長：それでは、次第「4 その他」について事務局より連絡事項等がありますか。

（事務局より説明）

会長：みなさまのご協力により、滞りなく議事を進めることができました。ありがとうございました。それでは、令和4年度第2回日進市環境まちづくり評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

（午前10時15分）